

日本を学ぶ国大生

留学はグローバル人材への糧

国学院大学がある渋谷や横浜をはじめ、国内で多くの外国人を目にするようになった。平成29年の訪日外国人は過去最高の2800万人超。2020年東京五輪・パラリンピックに向けても、国内での外国語需要の高まりを強く感じる。

日本企業の海外進出も年々増加し、世界に通用する知識と技能を身につけた人材の育成に向け、産官学がさまざまな取り組みを強化。その一つとして、文部科学省などは、五輪イヤーまでの7年計画で海外への留学生を大学で6万人から12万人、高校で3万人から6万人へ倍増することを目指し、若者が積極的に海外経験を積める環境づくりに努めている。

国学院大学は、学内で学んだ日本の文化や歴史を世界に発信できる人材を育てようと、正課授業や課外活動、留学プログラムを設けており、多くの学生がチャレンジしている。

自分の国を学ぶことと世界を知ることは、「国際化」の両輪

といえる。神道精神を教育の基盤とする学舎で過ごす国大生だからこそ、日本を飛び出し、海外で研鑽を積む留学経験は、グローバル人材への成長に大きな糧となるはずだ。

【4・5面に関連記事】

みはるかすもの

「やぶ入りや浪花を出でて長柄川」へ春風や堤長うして家遠し」大坂に奉公に出た少女が、母と弟が待つ家に里帰りする道中を描いた与謝蕪村「春風馬堤曲」に収められた句である。家路を急ぎ、たんぼほ咲く春の堤を行く様子が目に浮かぶ▼古今東西、人間は川に手を加え、堤防を築き、時に流れを変えるなど治水事業を行ってきた。甲斐国の戦国武将、武田信玄が手がけた笛吹川、釜無川の信玄堤が有名だが、この他にも戦国から江戸時代にかけて全国各地事例がある▼「治水の成果を上げることが、内政を確立し人心を把握する必須条件」と河川工学が専門の高橋裕さんは、

『川と国土の危機』（岩波新書）の中で述べるが、昔から人々にとって水が大きな脅威だったがゆえのことだろう▼著書の中で高橋さんは水害には「社会的条件が決定的に影響する」と指摘する。高度経済成長が始まった昭和34（1959）年の伊勢湾台風では、防災対策を考慮しなかった結果、貯木場から大量の木材が流出し大勢の死者を出し、57年の長崎大水害では、自家所有が広まっていた自動車を運転中の被害が増えたという▼平成に入って最悪の被害となった西日本を中心とした今回の豪雨災害。報道によれば、犠牲者のうち半数以上が高齢者で一人暮らしや介護を必要とした人も多いという▼決定的に影響した社会的条件が、この国が抱える過疎化と超高齢化であることは言うまでもなさそうだ。

「七夕」に染まる和装デー

浴衣などで一日を過ごす「和装デー」が7月6日、渋谷・たまプラーザ両キャンパスで開催された。本学の日本文化発信の一環として行われており、今年で4年目。願い事が書かれた多くの短冊をつるした竹や涼しげな音を奏でる風鈴が飾られる中、学生らは縁日の催し物や和装を楽しみながら、いつもとはひと味違うキャンパスライフを満喫した。

一般公開された七夕特別講義では、針本正行副学長が「古今和歌集の七夕歌」と題して話を展開。「恋」と「恋愛」をどう使い分けていますか」と問いかけて学生らの興味を引きつつ、古今和歌集などに登場する和歌を引用して昔の人々が七夕の日に詠んだ恋心を解説した。

当日はあいにくの雨にもかかわらず、着物の着付けを行うスペースを利用した女子学生は約250人、男子学生は約75人と活況だった。

西日本豪雨で被災された皆さまへ

このたび「平成30年7月豪雨」により被災された皆さまに、衷心よりお見舞いを申し上げます。

本学学生のご家族をはじめ、卒業生、関係者の皆さま、罹災者の方々の生活が一日も早く平常に復するよう、本学としてもできる限りの支援を行う所存です。

また本学を常日頃ご支援していただいている神社の方々におかれましても、甚大な被害に遭われたこと、心よりお見舞いを申し上げます。一日も早く復興され、被災地の方々の心の支えとなれんことをお祈り申し上げます。

平成30年7月9日
国学院大学
学長 赤井益久



留学生たちも浴衣姿で授業に臨んだ

4年目迎え深く浸透「浴衣男子」も増え盛況

和装デー

今年で4年目を迎えた「和装デー」。渋谷・たまプラーザ両キャンパスでは7月6日、七夕や日本文化を身近に感じるイベントが催され、雨天にもかかわらず、多くの学生が参加する盛況ぶりだった。

渋谷キャンパス5号館ビロティの縁日スペースでは、体育連合会が運営する射的やヨーヨー釣り、ボウリングのほか、ラムネの配布などが行われた。特に今年から設営された射的コーナーには、多いときで20人を超える長蛇の列ができ、学生らは景品のお菓子を狙って放ったコルク弾の行方に一喜一憂していた。

体育連合会によると、昨年の若木祭で初めて設けた射的が予想以上に人気を集めたため、和装デーにも取り入れたという。体育連合会の尾崎優美香さん(外文4)は「雨のために使えるスペースが限られる中での運営は苦労したが、4年目を迎えて認知度が上がり、和装デーを大学全体で楽しむ雰囲気が出てきた。和装の人が増えてくれて、うれしい」と顔をほころばせた。

華やかな和装に身を包む女子学生が増えた一方で、今年は浴衣を着た男子学生も目立った。持参した浴衣の着付けを行うスペースで男子学生の着付けを担当したNPO法人日本文化支援普及協会の関係者は「学生がひっきりなしに来た。雨なのに、昨年よりも盛況だ」とほほを緩めた。

七夕特別講義では、平安時代文学が

専門の針本正行副学長が「古今和歌集の七夕歌」と題し、七夕にまつわる和歌について解説した。この中で、「恋愛」は明治時代の訳語が元になった比較的新しい単語だが、「恋」は万葉集にも登場する古くからの日本語であると説明。古今和歌集176番歌「恋ひ恋ひて逢ふ夜はこよひ/天の河ノ霧立ちわたり/明けずもあらなむ」(1年間あなたを思い続けてようやく会う今宵は、天の川の霧が立ちこめ、夜が明けないようにしてほしい)の冒頭にある「恋ひ恋ひて」が七夕歌の本質であると紹介した。

また、源氏物語や蜻蛉日記などにある七夕に関係する和歌を引き合いに出し、「恋」は思ふ人と会えない中で、独り悲しむ「孤悲」が元になっており、七夕歌の本質である「恋ひ恋ひて」は孤独で悲しく、ずっと思い続けて会うことが不安な中で生まれる感情であると解説。その上で、「みなさん、七夕の夜はどなたと過ごすのでしょうか」と会場にロマンチックな余韻を残しつつ話を結んだ。

今井悠貴さん(法2)は「普段は和服を着る機会がないので、良い経験ができた。和装デーは国学院らしい雰囲気があり、緑日の催しも楽しめた」と話し、イタリアからの留学生、フェデリカ・スカナヴィーニさんは「浴衣を着るのは初めてで、帯がちよっと苦しかった。風鈴はかわいらしく、音がきれいで好きになりました」と目を輝かせていた。

夏越の大祓を執行



6月30日、神殿前庭で夏越の大祓が執行された。坂口吉一理事長をはじめ役教職員、学生が多数参列。知らず知らずのうちに積もっている半年間の罪穢れをお祓いした。

坂口理事長に滝川市市政功労表彰

国学院大学北海道短期大学部がある滝川市は、今年度の市政功労表彰を本法人の坂口吉一理事長ら7人に贈ることを決定した。短大部と市の包括連携協定の締結に寄与したほか、市との協調による奨学金制度の創設など、地域の活性化と市政の発展に貢献したことなどが受賞理由。



表彰式は、7月8日に市内で行われた市制施行60年記念式典の中で行われた。

特別推進研究助成金に4人が採択



特定課題による研究を助成し、学術研究の発展に資することを目的とした特別推進研究助成金制度に本年度は4人が採択された。採択者には、6月26日に赤井益久学長から交付決定通知書が手渡された。採択者は次の通り。

- ◆文学部＝須永和之教授
- ◆経済学部＝金子良太教授、本田一成教授
- ◆人間開発学部＝伊藤英之助教

体育部会指導者懇談会 危機管理意識の強化促す



本学の体育部会の指導者が一堂に集まり、意見交換などを行う体育部会指導者懇談会が6月20日、渋谷キャンパスで開かれた。懇談会には、赤井益久学長、黒崎浩行学生部長(神道文化学部教授)をはじめ、体育部会の部長や監督らが出席した。

挨拶に立った赤井学長は、他大学の体育部会の不祥事に触れ「危機管理で大事なことは『逃げない、ごまかさない、うそをつかない』。本学は毎年、危機管理体制を確認している」と大学の姿勢を述べ、指導者に理解を求めた。

議事の中で黒崎学生部長は、体育部会での危機管理対応として、日頃から学生や保護者とのコミュニケーションを密接にとることなどを求めた。

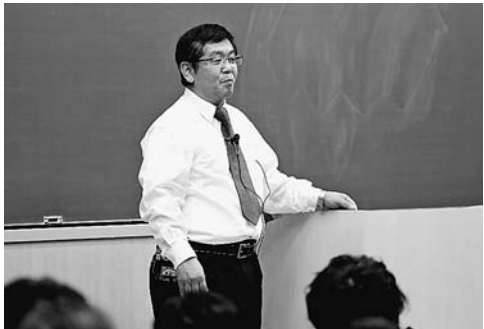
文学部講演会 難民問題を考える



難民問題を考える文学部講演会が6月12日、渋谷キャンパス常磐松ホールで開かれた。この企画は、昨年度に引き続き2回目。「日本における難民問題の現状と課題」と題し、難民支援協会広報部の伏見和子さんが講師を務めた。

伏見さんは今後の課題として、難民に対する日本社会の関心が低いことをあげ、シリアからの難民第1号として認定された家族の事例を紹介した。

法学会講演会 再犯防止に社会の関わりが必要



法学会による講演会が6月19日、渋谷キャンパスで開かれた。安田恵美准教授が担当する「犯罪学入門」の講義の中で行われた今回の企画は、「人生を変える出会いの力」をテーマに、NPO法人マザーハウスの理事長として、受刑者や出所者のケアなどを行う五十嵐弘志さんを迎えた。

五十嵐さんは自身の受刑歴や服役中に修道院のシスターらとの文通を通し、社会とつながりを持ち「回復」ができたことを紹介。「目の前の人を愛することを学んだ」と語った。その上で、日本の犯罪傾向や再犯を繰り返してしまう受刑者が多い実情を紹介し、「罪を犯した人が一番悪いが、無関心が人を傷つける。二度と犯罪に走らせないためには社会の関わりが必要」と訴えた。

若木育成会「支部の集い」
全国各支部で開催



在学生の保護者などで組織される若木育成会は、全国各支部で「支部の集い」を5月下旬から8月にかけての土・日・祝日に開催している。6月17日には渋谷キャンパスで東京都支部の集いが開催され、多くの保護者らが参加した。第1から第4の支部に分かれてそれぞれの総会が行われたのち、赤井益久学長と担当職員から大学の現況や教務、就職、学生関係についての説明が行われた。続いて、2年生以上の保護者を対象として、成績や就職などに関する個別相談に職員が応じた。1年生の保護者を対象とした「グループ懇談会」では、赤井学長ら教職員や若木育成会本部役員が学生支援体制などを説明した。

山本東次郎一門が実演
狂言の衣装と面を身近に



国学院大学博物館で7月8日まで行われた特別展「狂言―山本東次郎家の面―」の関連イベント「面のかけ方・装束のつけ方」が6月29日に行われた。一門の弟子たちを相手に着付けをしながら解説をした山本東次郎さんは「能楽や狂言では、衣装とよばず装束という。覚悟を持って着るものという意味が込められている」と説明。本来は見るができない太郎冠者や大名の装束の着付けや、女と鬼の面の掛け方を実演した。

浮世絵から
「悪」の魅力に迫る



国学院大学博物館などが初めて取り組んだ多分野連携展示「悪」の一環として、文学部の藤澤紫教授によるミュージアムトーク「悪は美しい」が7月7日、博物館ホールで開催され、歌川国芳らによって描かれた「悪」の魅力に迫った＝写真。

日本美術史研究を専門とする藤澤教授は、「浮世絵などに表現された『悪』には何らかの美学や美意識がある」とした上で、表情や顔と手足の比率の違いといった細かい表現で「悪」を演出する浮世絵の技法を紹介。さらに、『『国芳もやう 正札附現金男 野晒悟助』には多くの骸骨が描かれているが、実は猫の集合体。浮世絵に登場する『悪』には、ちょっとした笑いも隠されている」と解説した。また、「浮世絵の悪者は男性が多い。歌舞伎に『色悪』と呼ばれる役柄があるように、色男に『悪』は欠かせない要素」と述べて会場を沸かせた。

特集展示「悪―まつろわぬ者たち―」は8月5日まで博物館ホールで開催中。



「末広」の一節を演じる山本東次郎さん

各界の第一線で活躍する方々を迎えて行われる本学の水曜講座が6月20日、渋谷キャンパス常磐松ホールで開催され、狂言の大蔵流山本東次郎家当代、山本東次郎さん（昭36卒・69期文）が学生ら約60人を前に、「日本人の心―古典芸術をとおして」と題して講義を行った。

山本さんは、能と狂言の違いについて「能が人間とはいかにはかなく、悲しく、美しく、ちょっと恐ろしいかを表現しているのに対し、狂言は人間とはかくも愚かしく、楽しく、図々しく、とつてもいいものだということを表している」と説明。演目「末広」^{すえひろがり}「佐渡狐」^{さどぎすけ}を一部実演しながら解説し、「狂言は人間の心に湧き上がる愚かしい心を、取り返しがつかなくなる前の小さな『芽』の状態で描く。人間の愚かしさを認め、相手を許すことは、平和につながる。スキヤンダラスな大事に発展させず、絶妙なおかしさとどめているところに、狂言の見識があると思う」と語った。

山本さんは、高校2年のときに狂言方を辞めたいと考えたこともあったが、先祖の墓へ参った際に先達たちが狂言方として歩んだ人生に思いをさせ、思いとどまったエピソードも披露。聴講した関口瑠子さん（日文1）は「人間国宝の山本さんは遠い存在に思っていたが、私たちと同じように若い頃、人生に悩み、そして今があるということを知り、親しみを感じた」と話していた。

（注）大蔵流山本東次郎家では演目「すえひろがり」を「末広」と表記します。

水曜講座

山本東次郎さん「狂言の見識」語る

学問ノ道

第9回

●明治・大正・昭和を生きた研究者秘話

国学院大学博物館の礎を築いた樋口清之

国学院大学博物館の館祖たる樋口清之先生は、明治42（1909）年、奈良県桜井市に生まれた。先祖は、織田長益（有楽斎）に発する旧家である。祖父宮部清吉郎広綱氏は維新後、奈良県政に携わると共に儒学、国学を学んだ学者で、父樋口清二氏は、京都帝国大学を卒業し、各地の師範学校等の校長を歴任した教育者だった。

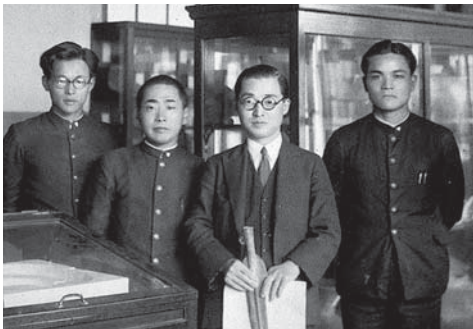
そのような環境で育った樋口先生は幼少の頃から自ずと学問に目覚め、とりわけ考古学に興味を抱くようになっていった。進学した

畝傍中学校時代にその頭角を現し、既然大正15年頃には、『考古学雑誌』『人類学雑誌』などの学術誌に十数篇の論考を投稿し、昭和2年、鳥居龍藏先生を慕って国学院大学に入学後は、考古学、人類学の勉学に勤しんだ。3年時には、中学時代を通じて奈良県各地で採集した考古遺物を基本に博物館の必要性を大学当局に訴えたことによって標本室を獲得し、公開に至ったのである。



樋口清之

このように博物館施設の設立計画を組上に載せ実践したのも、まだうら若き考古学徒であった樋口先生で、その強力な推進者として上代文化研究会会長鳥居龍藏先生をはじめ、中川徳治、丸茂武茂、福田耕次郎、雨宮祐、新倉借光、神林淳雄、水野久尚、三木文夫、森貞次郎、江藤千萬樹、長田実（以上敬称略）その他各方面からの支持者をあげることができた。同7年には、当時の国史研究室主任植木直一郎先生の助言によって「考



考古学資料室にて昭和14(1939)年

古学資料室」と改名した。この年、樋口先生が卒業と同時に国史研究室助手に採用され、資料室が国史研究室の附属となり、考古学研究と一体となった組織として正式に根付くことになったのである。先生の足跡の一端は現在、博物館で開催中の企画展で示した（6面参照）。

研究開発推進機構教授

内川隆志

座談会

世界へ飛び立て

「外国語力を磨きたい」「異国の文化を学びたい」「海外で専攻分野を勉強して単位認定を受けたい」「外国で職業体験をしたい」……。留学を希望する国学院大学の学生の目的は多岐にわたる。セメスター留学と協定留学に参加した萩原彬博さん(法4)と春期短期留学に参加した尾崎芽生さん(日文3)に、国際交流事務部次長兼国際交流課長の石山昭彦さんを加えた3人に、留学の学びや帰国後の変化について語り合ってもらった。

―留学に挑戦しようと思ったきっかけは―

尾崎さん 保護者向けに送付されてきたパンフレットで留学に興味がわき、国際交流課へ相談に行きました。2年生終了時の春休み中の留学を募集していたのですが、自分としてはこの時期の留学は就職活動で後れを取るのではないかと不安があり、キャリアサポート課にも話を聞きに行きました。どちらの課からも「大丈夫だよ」という言葉をもらったので、留学を決意できました。

萩原さん 私は高校の修学旅行で台湾へ行ったときに英語が通じなかったことがすごく悔しくて、留学してしっかり勉強したいと思いました。そこで、受験は留学制度の整っている大学を選びました。

石山次長 留学の目的は学生によって異なります。私たち国際交流課の職員は、学生と面談して、希望を具体化するお手伝いをしています。興味がある分野や経済的・時間的な条件などを考慮して、大学で用意しているプログラムの中から留学先を紹介すること

「考える力」 留学が育む

学生の一人として、日本について海外の人に伝えたいという思いがありました。留学先では、他の日本人学生が交流の道具にしようとしてきていた折り紙を見て、「マレーシアにも、日本の子どもなら誰もが経験したことがある折り紙のような遊びがあるのだろうか」という疑問がわきました。現地の教員に質問したところ、多民族国家という特性からなのか、マレーシアには共通した伝統的な遊びはないそうで、「折り紙は日本特有の伝統かもね」との答えでした。こうした疑問は国学院で民俗学の勉強もしていたからこそ生まれたのではないかと感じています。

―留学の経験をどのように生かしていきたい―

石山次長 本学は日本の歴史や文化を扱う授業が多いです。加えて、留学してくる外国人学生と交流するプログラムなどもあり、先日は歌舞伎鑑賞に出かけました。外国人留学生と一緒に体験することで、国際交流はもちろん、日本の文化・歴史に対する新しい発見もできるはずですよ。

萩原さん 私はセメント業界で最大手の太平洋セメントから内定をいただいたのですが、留学したからこそ、やりたいことが見えませんでした。海外生活では、インフラが整っておらず不便を感じる一方、世界各地から集まっている学生たちが日本企業の名前を知っている一方で、日本の技術力の高さを改めて実感しました。日本の高度な技術をもっと世界に広めるために、BtoB(企業間取引)の企業で働きたいと考えて就活をしてきました。入社後は留学で培った語学力と行動力を生かしたいですね。

―2人とも、留学した環境は違いますが、感じていることは共通していますね―

石山次長 こうして話を聞いていると、2人とも自分で考えることができる、主体性のある学生になっていると感じます。留学をする、自分で考える、自分の責任で行動しなければならぬ場面がたくさんあると思います。そうした経験も今後の人生で武器になるでしょう。

ともありますし、必要であれば学外のプログラムを利用すべきだとアドバイスしています。

―留学先での学生生活は―

萩原さん 私の留学先はカナダでした。3年前のセメスター留学(4カ月間の英語集中プログラム)は、留学生向けに英文法などを扱うディベート形式の授業を、昨年从今年にかけての協定留学は現地の学部生と一緒にマクロ経済などの専門的な授業をそれぞれ受けました。

石山次長 協定留学では卒業のための単位を留学先で取得する必要があったため、教務課にも協力してもらい現地で学ぶべき科目を萩原さんは選択しました。

尾崎さん 私はマレーシアで、他の留学生たちと一緒に英語を基礎から学ぶ授業を受けました。初日に受けたテストの結果でクラス分けされたため、周りは同じくらいの英語



語力の両方を生かしている感じがして、うれいす。日本人として、母国のことをしっかりと学ぶことの大切さは、留学を経験して改めて気づかれました。

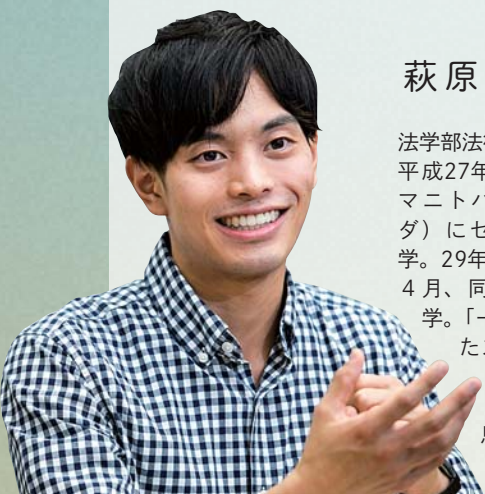
萩原さん 私と同じことを感じました。英語はツールです。英語をどれだけ話せるかというよりも、英語で何を伝えるかということのほうが重要だと思っています。ですから、留学をしたら英語を学ぶだけでなく、海外での暮らしや人との交流を通していろいろなことを学ぶべきです。そして、経験して学んだことを英語というツールを使って世界に発信していくことが大切だと思っています。

石山次長 私も同じことを感じました。英語はツールです。英語をどれだけ話せるかというよりも、英語で何を伝えるかということのほうが重要だと思っています。ですから、留学をしたら英語を学ぶだけでなく、海外での暮らしや人との交流を通していろいろなことを学ぶべきです。そして、経験して学んだことを英語というツールを使って世界に発信していくことが大切だと思っています。

意欲ある学生をサポート

萩原 彬博

法学部法律学科4年。平成27年9～12月、カナダ留学。平成29年9月～30年3月、マニトバ大学に協定留学。29年同様に協定留学。4月、一緒に過ごす人に出会った。思いがたたくさん！」



尾崎 芽生

文学部日本文学科3年。平成30年3月、アジアパシフィックテクノロジー&イノベーション大学(マレーシア)に1カ月の短期留学。「留学先のエッセーコンペで1位になった、本当にうれしかった」



レベルの学生ばかりで、気後れすることなく会話ができました。

海外での学生生活を通じて気付きや変化は

萩原さん 1度目の留学では、コミュニケーション能力が格段に上がったと思います。帰国後、友人からも「外国人っぽくなったね」と言われました。カナダでは人と人の距離がすごく近いと感じ、自分もそうなりたいと思って生活していたので、うれしい言葉でした。2度目は留学中に就職活動が始まり、とても忙しい時期を過ごす中でチャレンジ精神が身につきました。「とりあえずやってみよう」「やってみれば何とかなる」という気持ちで取り組めるようになり、行動力や対処能力が向上したと思います。

尾崎さん 国際交流課に相談に行ったときにそうした情報も教えてもらい、マレーシアへ行く決め手になりました。

石山次長 日本を大事にする国学院大学に通う

意欲ある学生をサポート

年で卒業することを念頭に、授業や就職活動に支障が出ない時期や自分で賄える費用を考えて留学先を決めました。その時点で「考える力」というのは養われていると思います。萩原さんは2度目の留学にあたり、卒業を延期するという大きな決断をしました。本当にやりたいことがあって自分の責任で決めたことは評価してもよいと思います。

留学する学生の中には、海外での生活に問題を抱えるケースもあります。その際には、メールやインターネット電話サービス「スカイプ」を使って話したり、現地のスタッフと連携したりして対処することもあります。留学前も留学中も、そして帰国後も、職員みんなでサポートする体制が整っていますから、興味のある学生には安心して世界に飛び立ってほしいです。

ありがとうございました

学内奨学金 経済的負担を軽減

国学院大学は、本学と協定を結ぶ海外の大学への留学を希望する学生に対して経済的負担を減らし、勉学を支援する制度として各種奨学金を用意している。学業成績や基準とする標準テストの成績などによる選考や認定が必要なものもある。

◎セメスター留学(4カ月間)の参加者

「助成金制度」(給費) Ⅱ 給付額は年間授業料の半額相当額の35万円で、採用数は45人(平成29年度実績)。

「学習奨励金制度」(給費) Ⅱ 期間中に優れた学修成果を収めた者が対象。給付額は10万円で、採用数は若干名。

◎協定留学・認定留学の参加者

「奨学金」(給費) Ⅱ 協定留学生として選考された者、または認定留学生として認められた者に対し、留学中の経済援助を行う。給付額は1学期間15万円、2学期間30万円で、採用数は若干名。

「グローバル・チャレンジ・プログラム」

グローバルな能力を養うための目標になる仕組み

「グローバル・チャレンジ・プログラム」は、グローバル人材としての基礎力を養うために有効な正課授業や留学などの課外活動をポイント化し、修了要件を満たした学生に修了証を交付する。プログラムの対象となっている活動に参加することで、グローバル人材としての能力を伸ばすことができる。

K-STEPアシスタント

日本にいながら国際交流

「K-STEPアシスタント」は登録制の国際交流ボランティア。参加者は、留学生の日本語練習パートナーになったり、イベントと一緒に出かけたりして、日本にいながら国際交流を体験することができ

留学に関する問い合わせ先

国際交流課

03・5778・7061

インフォダイジェスト

大学からの
お知らせ

西日本豪雨および大阪北部
地震で被災された方へ

今回の災害により災害救助法が適用された地域に主たる家計支持者が居住し、家計の急変によって学業生活に支障をきたすおそれのある学生は保証人（保護者等）と相談の上、ご相談ください。

■被害対象地域については本学HPで確認してください。

■学生生活課（☎03・5466・0146）
たまプラザ事務課
（☎045・904・7705）
大学院事務課
（☎03・5466・0142）

学生支援システムが
「K・SMAPY II」にリニューアル

学生支援システムが、9月4日から「K・SMAPY II」にリニューアルする。新システムへの移行スケジュールは以下の通り。

- 現システム停止期間
8月27日(月)～9月3日(月)
 - 新システム稼働（参照のみ）
9月4日(火)～
- ※利用方法のマニュアルは、8月27日(月)に公開予定

第2回古事記アートコンテスト
作品募集中

■国学院大学古事記学センターでは、一般財団法人神道文化会との共催で「第2回古事記アートコンテスト」を開催します。今回は「大学生部門」に加え「高校生部門」を新設し、『古事記』に関する絵画・イラストを募ります。

【応募締切】
10月31日(水)（当日消印有効）

【応募条件】
▶高校生部門は全国の高校在籍者、大学生部門は全国の大学・短大在籍者であること
▶作品は自作未発表のもので1人1点とし、A1サイズ（594×841ミリ）以下でP C ・手描きは問いません

【応募方法】詳細は古事記学センターHP（<http://kojiki.kokugakuin.ac.jp/>）で確認してください。

■高校生新聞社 第2回古事記アートコンテスト係
（☎042・724・2750、
FAX042・724・2860、
✉contest2018@sclpa.jp）

夏期休暇中の事務休止日
および事務取扱時間について

下記の期間、大学事務を一斉休止します。夏期休暇中の事務取扱時間については、大学HPまたは掲示で確認してください。

■7月28日(土)～9月19日(水)の土日祝日、8月10日(金)～22日(水)、9月14日(金)～17日(祝)

後期授業開始について

学部・専攻科・別科・大学院の後期授業開始は9月21日(金)です。学年暦については学生生活ハンドブックや大学HPで確認してください。

各種学内奨学金の願書配付

■▶国学院大学修学支援奨学金（後期・年額15万円）
▶弘田ふるさと奨学金(年額70万円)
▶コピー奨学金(年額30万円)
▶あすなろ奨学金（年額30万円）
▶田村祥浩君記念奨学金（年額15万円）

	… 在学生		… 保護者		… 卒業生		… 一般		… 受験生
■内容	■日にち	■時間	■場所	■対象	■申し込み	■料金	■問い合わせ		

進学相談会一覧（9月開催分）					
都道府県	都	市	会 場	日 付	時 間
北海道	札幌	札幌	アクセス札幌	9月12日(火)	未 定
北海道	札幌	札幌	アクセス札幌	9月13日(水)	未 定
青森	青森	青森	青森国際ホテル	9月 3日(月)	15:30～18:30
岩手	盛岡	盛岡	ホテルメトロポリタン盛岡本館	9月18日(火)	15:30～18:30
宮城	仙台	仙台	仙台サンプラザホール	9月13日(水)	15:00～18:30
秋田	秋田	秋田	アルヴェ	9月 7日(金)	15:30～18:30
山形	山形	山形	山形テルサ	9月20日(水)	15:30～18:30
茨城	水戸	水戸	水戸プラザホテル	9月18日(火)	14:30～18:00
栃木	宇都宮	宇都宮	マロニエプラザ	9月 5日(火)	14:30～18:00
群馬	高崎	高崎	高崎アリーナ	9月21日(金)	15:00～18:30
神奈川	横浜	横浜	横浜新都市ホール（横浜そごう）	9月 1日(土)	13:00～17:00
神奈川	横浜	横浜	パシフィコ横浜	9月30日(日)	10:00～16:30
新潟	新潟	新潟	朱鷺メッセ	9月12日(水)	15:00～18:30
富山	富山	富山	A N A クラウンプラザホテル富山	9月11日(火)	15:30～19:00
石川	金沢	金沢	金沢駅もてなしドーム	9月12日(水)	15:30～19:00
長野	長野	長野	ホテルメルパルク長野	9月13日(木)	15:00～18:30
長野	松本	松本	ホテルブエナビスタ	9月14日(金)	15:00～18:30
静岡	静岡	静岡	ツインメッセ静岡	9月20日(水)	15:30～18:30
静岡	沼津	沼津	キラメッセぬまづ（プラザヴェルデ内）	9月21日(金)	15:00～18:30
福岡	福岡	福岡	ソラリア西鉄ホテル	9月19日(火)	15:00～18:30
熊本	熊本	熊本	ホテル日航熊本	9月12日(水)	15:00～18:30
宮崎	宮崎	宮崎	MRT micc	9月26日(水)	15:00～18:30
鹿児島	鹿児島	鹿児島	ジェイドガーデンパレス	9月14日(金)	14:30～18:30

▶国学院大学留学生奨学金（年額20万円限度）
▶教育ローン利子補給制度（年額5万円限度）
■・■9月18日(火)まで、学生生活課（☎03・5466・0146）か、たまプラザ事務課（☎045・904・7705）で
※全て単年度採用のため、昨年度受給者でも出願が必要です。詳細は

大学HPで確認を
■ 本学が参加予定の進学相談会（9月開催分）
■国学院大学では、9月に各地で開催される進学相談会に参加予定です。本学への進学をお考えの受験生、保護者の方はぜひご来場ください。
■・■・■上表参照

イベント 30

第26回 万葉の花の会講演会

■『万葉集』を通して自然や文化に親しむ恒例の講演会です。毎回好評の「万葉弁当」と「万葉の花ごよみ」（カレンダー）も準備しています。
■9月5日(水)
■9時40分～15時（受付＝9時～）
■たまプラザキャンパス講堂
■一般2000円、学生1500円（資料代

・通信費含む）
※万葉弁当（1000円）は当日受付時に受講票（返信はがき）を提示の上、お支払いください
■8月24日(金)までに、往復はがき（郵便番号・住所・氏名〈フリガナ〉・電話番号・万葉弁当の要・不要を記入）で、〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28 国学院大学気付「万葉の花の会」へ。先着432人
※はがきは1人につき1枚
■ 神道研修事務課
（☎03・5466・0155、
FAX03・5466・0163）

博 物 館

■無料
■10時～18時(入館は17時30分まで)
※8月13日(月)～22日(水)は休館

開館90周年記念 企画展「日本文化の淵源を求めて―考古学陳列室から国学院大学博物館まで―」

■昭和3年、樋口清之先生が創設した考古学標本室（陳列室）に始まった当博物館は今年で開館90周年。今回の企画展では、樋口先生が専門とした考古学を中心に、創設から今日に至る当博物館の歴史を振り返ります。新収蔵品「盛装男子」の大型埴輪の初公開など、新たな発展を目指す当博物館の取り組みも紹介します。

■9月9日(日)まで
■博物館企画展示室

ミュージアムトーク

■博物館ホール
■▶「埴輪を語る」：8月25日(土)13時～14時
▶「勾玉を語る」：9月1日(土)13時～13時30分

※博物館関連イベントの問い合わせは
☎03・5466・0359

「鰻を食べて元気になるう！」というのは、万葉集の時代と同じでして、大伴家持は次のような歌を作っています。
石磨にわれ物申す夏瘦に
良しといふ物そ鰻取り食せ
〔めせの反なり〕（巻十六・三八五三）
瘦す瘦すも生けらばあらむをはたやばた
鰻を取ると川に流るな（同・三八五四）
この歌は吉田連老、通称石磨と呼ばれる人を「嗤咲へる歌（からかった歌）」です。この人は、「仁敬の子（儒教道徳に篤い人、いわゆる真面目な堅物）」であり、しかもいくら食べても太らない、痩せの大小

測していたのでしよう。そのような石磨の性格を見透かして、鰻を捕りに川へ入ったことがあだとなり、痩せているばかりに川に流されてしまうのではないかと嘲笑しているのです。ここには、家持の二重のからかいが見えます。
私たちが鰻を食べて夏を乗り切りたいものですね。



若木が丘
だより

教育開発推進機構助教
鈴木 道代

食いだったことがこの歌の注に記されています。
家持は、このような石磨に、鰻は夏瘦せに効くから食べなさいと薦めるのです（三八五三）。鰻は栄養価が高い食物であることが、万葉の時代には既に知られていたということでしょう。さらに家持は石磨に対して、鰻を捕ろうと思っ川に流されてはいけませんよ（三八五四）と言っています。この石磨が笑いの対象となるのは、四角四面の真面目な人であったところから、家持は石磨が自分の忠告にすぐさま従うことを予

うなぎを食べよう！
～大伴家持生誕1300年目の夏～

若木体育祭
スポーツで交流深める



第57回若木体育祭が6月17日、たまプラーザキャンパスで開催された。若木体育祭実行委員会が企画した各種競技が球技場や体育館に分かれて行われ、クラスや部会、サークルの仲間同士で参加した学生たちは、バスケットボールやパラリンピック種目のボッチャなどで白熱した戦いを繰り広げた。

団体・個人の成績



硬式野球部＝各大学野球のリーグ戦で出場機会の少なかった4年生選手を中心としたトーナメント大会「第2回 Mature Cup」が6月24日から30日、日本体育大学健志台球場（横浜市青葉区）などで開かれ、硬式野球部は連覇を達成した。日本体育大学との決勝では、中盤に満塁本塁打で同点に追いつかれたが、直後に敵失で勝ち越し、8－6で接戦を制した。



ソフトテニス部＝第68回東日本大学対抗大会が6月30日と7月1日、千葉県白子町で行われ、男子はベスト16、女子がベスト8の成績だった。

卓球部＝関東学生卓球選手権大会が6月21日から23日、所沢市民体育館で行われ、男女単複各部門に出場した選手のうち、女子ダブルスで鹿股まりな選手（神文2）・塚本佳苗選手（日文2）ペアと阿部里歩選手（神文1）・小島叶愛選手（初教1）ペアがベスト16に入った。

強化部会主なスケジュール
(8・9月)

柔道部＝東京学生柔道体重別選手権大会〔9／2(日)・日本武道館〕、全日本ジュニア体重別選手権大会〔9／8(土)・9(日)・埼玉県立武道館〕、全日本学生柔道体重別選手権大会〔9／29(土)・30(日)・日本武道館〕

剣道部＝第44回関東女子学生剣道優勝大会〔9／3(月)・東京武道館〕、第67回関東学生剣道優勝大会〔9／9(日)・日本武道館〕

卓球部＝関東学生卓球秋季リーグ戦・男子2部リーグ〔9／14(金)～16(日)・所沢市民体育館〕女子1部リーグ〔9／14(金)～16(日)・所沢市民体育館、20(木)・21(金)・港区スポーツセンター〕

ソフトテニス部＝第72回全日本大学対抗ソフトテニス選手権大会〔8／7(火)・8(水)・岡山市浦安総合公園テニスコートほか〕、第73回全日本学生ソフトテニス選手権大会〔8／9(木)、10(金)・同〕、第60回全日本学生ソフトテニスシングルス選手権大会〔8／10(金)・11(土)・同〕

K[🔥]SPIRITS 卓球部女子
攻めのプレーでつかんだ1部残留

— 長尾真由選手、小島叶愛選手、阿部里歩選手 —



今年で創部71年を迎えた卓球部。女子が今春の関東学生卓球リーグ戦で、初の1部残留を決めた。平成27年秋に初の1部昇格。その後2年間は降格、昇格を繰り返し、今春、3度目の挑戦での悲願達成だった。主務の長尾真由選手（経ネ4＝写真中央）、1年生ながら即戦力として活躍する期待の新人、小島叶愛選手（初教1＝同右）と阿部里歩選手（神文1＝同左）の3人に、1部残留の喜びや今後の目標を聞いた。

— 今春のリーグ戦を戦った感想は

長尾選手 リーグ戦7試合のうち、前半5試合は全てストレート負け。初めて1部で戦った2年前のつらい記憶がフラッシュバックするような苦しい戦いが続きました。残る後半2試合までの間に2週間ほど空いたのですが、その間、球威の強い男子部員に練習相手になってもらうなど、自分たちに負荷を与えました。その結果、技術面でも精神面でも変わることができたのではないかと思います。1部の選手に対しても、しっかりと「攻める卓球」ができるようになったと感じています。

— 「攻める卓球」への変化とは

小島選手 私は、前半戦では相手がどうこうというより、自分が守りに入ってしまったって勝てなかったと思うので、自分を精神的に追い込んだという意味で「攻めた」と感じています。競り合う場面で、どれだけ自分の力を発揮できるかということ

に集中して練習に取り組むようにしていました。**阿部選手** 私も精神面ですね。第3戦（日本体育大学戦）でマッチポイントまで取ったのに逆転負けしてしまって…。この試合があったからこそ、気持ちで攻めないと勝てないなと痛感しました。——1部定着への試金石となる秋のリーグ戦の目標は

長尾選手 春のリーグ戦は、1部全8チーム中で6位という成績でした。秋は、1部上位である4位以内に入りたいと思っています。そのためには、チーム全体の実力を高める必要があります。部員には、良い意味でライバル心を持って切磋琢磨してほしいです。

小島選手 春は、先輩方からたくさんサポートしてもらったのに、勝てないことが申し訳なかったです。秋にはもっと実力をつけて、「叶愛なら大丈夫」とみんなに思ってもらえるくらい強くなりたいです。

阿部選手 今まで負けていた相手に勝たないと、1部上位には入れません。1部の選手には、自分の苦手な部分をすぐに読まれてしまうので、練習では弱点を常に意識して克服できるように努めています。

◇

インタビューの詳細は、本学ホームページ内「国学院メディア」に掲載。

柔道部 全日本学生柔道 善戦実らずベスト16



団体戦で大学日本一を争う全日本学生柔道優勝大会（全日本学生柔道連盟主催）が6月23、24の両日、日本武道館で行われた。各地区の予選を勝ち上がった全国62大学が出場した男子団体戦（体重無差別7人制）で、1・2回戦を勝ち進んだ柔道部は3回戦で、3年連続で山梨学院大学と対戦した。先鋒の兼原潤選手（経2＝写真）が合わせ技で一本勝ちを収めたが、その後逆転され、1－2で競り負けベスト16に終わった。優勝は東海大学で2年連続23回目。

柔道部 東京ジュニア 相田選手・長澤選手が優勝

東京都ジュニア柔道体重別選手権大会が7月8日、東京武道館で行われた。柔道部からは男子の各階級に16人が出場。男子66kg級では、相田勇司選手（法1）が優勝、新井雄士選手（史1）が

準優勝に輝いた。このほか81kg級では長澤大雅選手（健体2）が優勝。3人は9月に行われる全日本ジュニア柔道体重別選手権大会の出場権を獲得した。

K:DNA——創立136年目を迎えた国学院大学の**遺伝子**…個人・個性を尊重する校風 若いエネルギーが未来を変える
●編集 総合企画部広報課／学生アドバイザーメディアチーム〔尾澤桃子（法4）／本間由（日文4）／柳下桂一郎（史4）／後藤哲治（日文3）／山本莉紗子（外文3）／石原礼菜（日文2）〕



硬式野球部

清水投手 侍ジャパン大学代表に選出

第42回日米大学野球選手権大会（7月3～8日）と第29回ハーレム・ベースボールウィーク2018（7月13～22日）の日本代表に、硬式野球部の清水昇投手（日文4）＝写真＝が選出された。本学学生が日本代表に選出されたのは、前々回の日米大学野球に出場した山崎剛選手（現楽天、経済学部出身）以来となる。

日米大学野球で、清水投手は、2試合に中継ぎとして登板。1回1／3を投げ1失点で勝ち負けはつかなかった。大会は米国が3勝2敗で優勝した。
オランダで行われるハーレム・ベースボールウィークには、日本をはじめ6カ国が出場する予定で、総当たりのリーグ戦と順位決定戦が行われる。

陸上競技部

2位で4年連続予選突破 —全日本大学駅伝

大学駅伝日本一を決める秩父宮賜杯第50回全日本大学駅伝対校選手権大会の関東地区選考会が6月30日、浦和駒場スタジアム（さいたま市）

全日本大学駅伝関東地区選考会結果

順位	大学名	総合タイム
1	法政大学	4時間 6分 9秒
2	国学院大学	4時間 6分 21秒
3	城西大学	4時間 6分 51秒
4	明治大学	4時間 7分 15秒
5	帝京大学	4時間 7分 24秒
6	日本体育大学	4時間 8分 19秒
7	順天堂大学	4時間 8分 48秒
8	日本大学	4時間 8分 53秒
以上 全日本大学駅伝出場権獲得		
9	拓殖大学	4時間 9分 30秒
10	大東文化大学	4時間 9分 39秒
11	山梨学院大学	4時間 9分 56秒
12	国士舘大学	4時間 10分 5秒
13	創価大学	4時間 10分 42秒
14	東京国際大学	4時間 11分 19秒
15	東京農業大学	4時間 11分 48秒
16	筑波大学	4時間 12分 30秒
17	上武大学	4時間 12分 48秒
18	亜細亜大学	4時間 15分 24秒
19	専修大学	4時間 15分 39秒
途中棄権	中央大学	—

で行われ、本学陸上競技部は4年連続の本戦出場を決めた。
予選は4組に分かれ2人ずつの計8人が1万mを走り、合計タイムの上位8校が本選出場となる。レースは気温30度を超す猛暑の中、午後5時30分にスタート。
各組ともスローペースで進む中、1組目で臼井健太選手（健体2）が2位、2組目で小中駿祐選手（経4）が4位に入るなど3組目までを走った6人全員が31分20秒以内にタイムをまとめ3位につけた。最終の4組目では、土方英和主将（健体3）＝写真＝と浦野雄平選手（経営3）の両エースが、外国人ランナーら各校の実力者に引けを取らない走りで、29分台のタイムをマーク。法政大学に次ぐ2位で予選突破を決めた。
結果発表後、前田康弘監督は「トップ通過を狙いたかった。おごることなく駅伝シーズンで存在感を発揮できるようにしたい。全日本大学駅伝のシード校が今年から8校になるので狙っていきたい」、土方主将は「目標の3位以内を達成するこ



とができた。トップ通過が狙えたので悔しい。箱根駅伝の予選会（10月13日）が次の戦いになる。一人一人が自覚を持って戦っていきたい」とそれぞれ安堵感をにじませながら今後への課題を口にし、飛躍を誓った。本戦は11月4日、愛知・熱田神宮から三重・伊勢神宮までの全8区間、全106.8㎞で行われる。

博物館 No.14
学芸員の資料ファイル

時代：古墳時代（前期）・3世紀
出土地：伝奈良県桜井市ホケノ山古墳出土
一定の方向から見た場合、神々の姿が正位となる同向式の神獣鏡。外区には、日月の運行を表現した飛龍・雲車・獣などの画文帯が巡らされています。内区の主文様は、上段の琴を弾く伯牙、中段右の東王父、中段左の西王母、そして下段の黄帝。また、4つの乳の周囲には、蟠龍を配し

今月の資料 画文帯同向式神獣鏡（重要美術品）

ています。完形ですが、実際にホケノ山古墳から出土した例に比べると鏡背の文様が著しく模糊としているのが特徴です。本資料は、樋口清之氏から寄贈されたものです。
展示案内：本資料は、開館90周年記念 企画展「日本文化の淵源を求めて—考古学陳列室から国学院大学博物館まで—」でご覧いただけます。
ウェブサイト案内：http://museum.kokugakuin.ac.jp/

